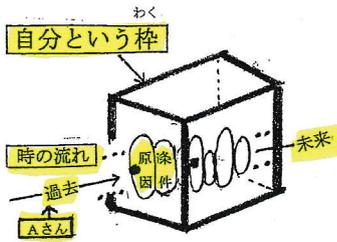


1 釈迦(ブツダ)の空

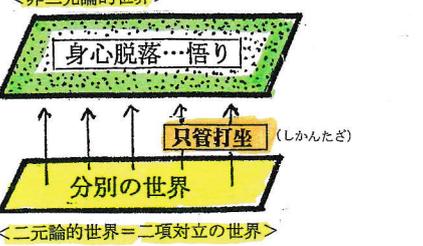
(釈迦: B C 463~B C 383)



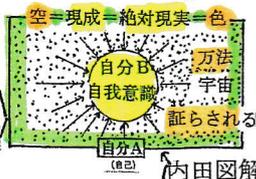
- 自分という枠はあるが、自分というものは原因・条件(縁起)で生成・消滅を繰り返すので、本質(実体)は問えない(ない)。
- 「空」とは、あるものにある性質が欠けている…**固定的な実体がない。**
- 「空」とは、形(枠)はあるが**本質はない。**

2 道元の悟り

(道元: 1200~1253)



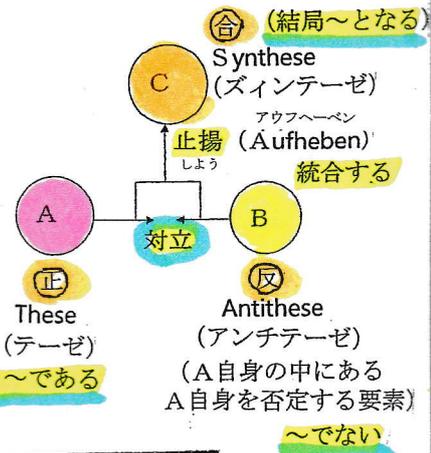
道元は悟りを言語化した。(ひろさちや)



しょうぼうげんざう
正法眼蔵: 「仏道をならふというは…身心をして脱落せしむるなり」→仏道を学ぶ事は、自己を学ぶ事。自己を学ぶ事は、自己を忘れる事。自己を忘れる事は、**万法(全ての存在)によって証(さと)らされる事**。万法に証(さと)らされるとは、**身心脱落**…自己・他己の意識や執着心等がなくなる事…である。

ヘーゲルの弁証法

(Hegel: ドイツ: 1770~1831)

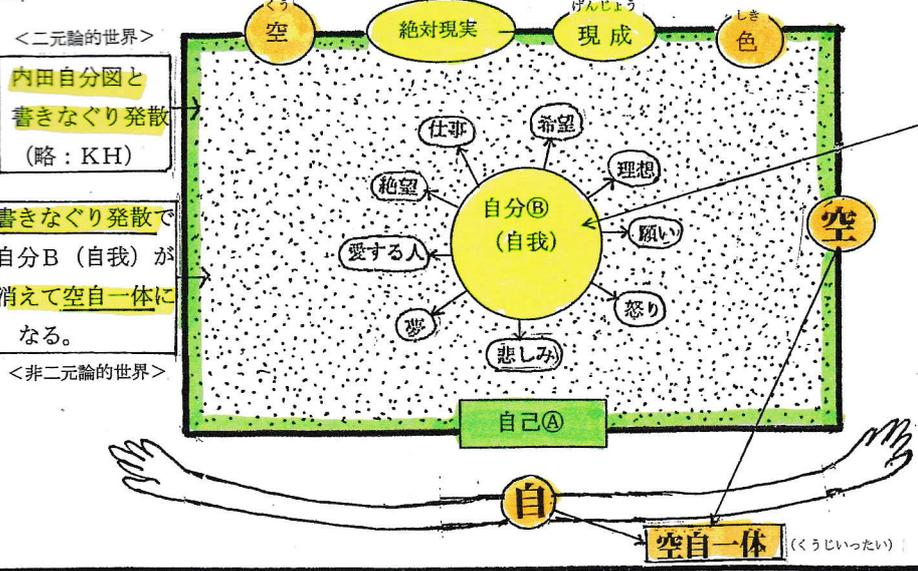


禅の悟りは弁証法とは異なる(鈴木) 大拙。

2 ☆自己と自我の関係を示す**自分図**で、頭に浮かぶ全てを書きなぐり発散し、頭を空っぽにする。

(2009・4・8 内田自分図 (selfmap) で、悟りを図式化(図解)した。

3 悟りの図解①



自分Bを指で隠すと? →悟りが実感!
 <非二元論的世界>
 有るけど無い(色→空)。
 無いけど有る(空→色)。
 (自分B(自我)が気にならない)。
 (自由な生活が可能になる)。
 ☆自己Aは無分別の自己、自分Bは分別の自己と考えられる。

☆実際は、「空自一体」の自覚はない(空っぽ)! ☆自分図は、自分を客観的に見るのに役立ちます。

- 3 悟りを言葉で表すと…
- ①無心で**無分別の0才の自己**。
 - ②家庭や学校で**知性のある分別の自己の誕生**。
 - ③病気や修行等で**自己否定が起こり、知性(分別)カット**。
 - ④**無分別の自己** + 一度否定された**無意識の分別の自己**。…が同時に重なって共存する。…無心の自己の誕生。→悟り。
 - ⑤**無心の自己が自由な生活**。外から見ると喜怒哀楽がある**普通の人がそこにいる**…としか見えない悟りの状態。

- 4 <補足>…①~④の出典: 現代日本思想体系8(絶版)・鈴木大拙、②西田幾多郎『善の研究』への序文。
- ①禅の悟りは**心理学的にいうと、無意識を意識すること**。
 - ②西田の**絶対無の哲学**、言いかえると**絶対矛盾の自己同一**という彼の論理は、思うに、いささか**禅体験に通じていなければ理解しがたい**であろう。…彼は禅を西洋に理解させることを**自己の使命**と考えた。…西洋は知性に訴えて**二元論的世界**から出発するが、東洋は**空の大地**をしっかりと踏みしめる。
 - ③**エクハルト**は「**突破(とっば)**」ということを用いる。これは明らかに悟りに該当する。…今まで連続していたものが、**突如として断絶する様子**である。**非連続の連続**、**無分別の分別**の体験に外ならぬ。
 - ④…悟りでは**無分別をみる**、しかもその**無分別のうちに分別を容れる**。分別が無分別と別にならずして、**一つになる**。ここに悟りの妙がある。悟りの論理が建立せられる。
 - ⑤**無心の自己が自由な生活**をするのが、**禅の悟りの理想的な生活**だ。(福島慶道・臨済宗僧侶)